

統計を取り，レポート作成をしよう ～比較級を活用して～

「主体性」「協働的課題解決力」「振り返り力(メタ認知力)」

- 1 日 時 令和3年2月1日(月) 6校時(14:00～14:50)
- 2 学年・組 第2学年A組(男子 16名, 女子 13名, 計 29名)

3 単元観

本単元は、学習指導要領における「(4) 話すこと〔やり取り〕」の「ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」と「(5) 書くこと」の「ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。」を目標とし、調べた事柄について統計を取り、レポートに自分が考えたことや感じたことを書けるようになることを目標とする単元である。

言語材料としては統計を取り、数値の大小について説明するには欠かせない比較級を扱う。また、自分の意見を述べる際に必要な I think～、統計を取る際に目的等について表現するために必要な不定詞などの既習文法も使うことができる単元である。またアンケートや調べ学習で得た情報を精査し、単に数値の羅列によってレポートを作成するのではなく、簡潔にわかりやすくまとめ、その統計から見た自分なりの分析を英語で表現しなければならないので、「書く力」以外にも数学科や社会科で身に付けた、資料を読み取り、分析する力を必要とし、思考力・判断力を育成することができる単元である。

4 生徒観

本学級の生徒は、授業規律が確立されており、落ち着いて学習に取り組むことができる。また、事前実施した「英語学習アンケート」から、英語の授業が好きであると答えた生徒の割合は86%と高い数値を計上しており、授業にも意欲的に参加している。

一方で、書く技能に焦点を当てると、他技能はすべて70%以上の肯定的回答がある中で、「英語で文章を書くことができる」と回答した生徒の割合は62%と著しく低い数値である。さらに本年度1月に実施した学習状況定着確認試験の結果を見ると、知識の定着を図る問題は67%、理解力を図る問題に対しては69%を計上しているのに対し、表現力を問う問題の正答率に対しては52%と、「自分の考えを書く」力を問う問題への正答率が低いことが分かる。この他にも、授業中の活動で一定量の文章を書かせたときに書くことができていない生徒が多いこと、定期試験の自由英作文問題に対しての正答率が芳しくないことを踏まえると、「書く力」に課題があるのは明白である。さらに、「書く力」の中で、特に「聞いたり読んだりしたことの要点を捉え、自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて書く」力に課題があると考えられる。これは定期試験で、教科書の基本文など、日本語の単文を英語に書き換えることはできる一方で、対話形式の問題を出題した際に、対話の内容を理解していなかったり、内容を把握しているにもかかわらず、自分の考えを表現することができなかつたりするといった状況から判断できる。

5 指導観

【本校の育成しようとする資質・能力】

○主体性 ○協働的協働的課題解決力 ○振り返り力（メタ認知力）

前述の通り，聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや意見を書くことに課題がある。その原因としては，①語彙の少なさ，②文法的知識の未定着，③基本的文章構成の未習があると考え。従って，これらの事項を重点的に指導していく。また，I think や I agree などの表現を用いて自分の意見や賛否を述べたり，because や so などの接続詞を用いて自分の意見や主張とその理由や根拠の関係を明確にしたりするなど，論点を明らかにし，順序付けを行うなどして，読み手にとって分かりやすいレポートを書けるようになることを目標とする。

単元を貫く課題設定として，「物事や情報の比較」を扱う。これは統計を取り，レポート作成をする際に必要不可欠な能力であるとともに，日常会話においても物事を比較し，意見を述べあう機会が多いため，重要性が非常に高いことから設定した。最終的にはこの単元の学習を通して，物事を多面的に考えられるようになり，良し悪しを判断できるようになってほしいと考えている。

6 単元の目標と評価規準

<単元の目標>

様々な文献を読んだり，アンケートを取るなどして統計を取り，結果を分析してレポートを作成することができる。

<評価規準>

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
<p>①間違いを恐れず積極的にコミュニケーションをとろうとしている。</p> <p>②分からない単語や表現は辞書を用いるなどして，自分の力で文章を書こうとしている。</p>	<p>①比較級を用いて文を正しく書くことができる。</p> <p>②I think 等を用いて，聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや意見を書くことができる。</p> <p>③接続詞を用いるなどして，自分の考えや根拠などの関係を明らかにして書くことができる。</p>	<p>①比較級を含む英文を読んで内容を理解することができる。</p>	<p>①比較級，最上級に関する知識を身に付けている。</p> <p>②I think, because 等の既習の表現を用いてレポートを作成することができる。</p>

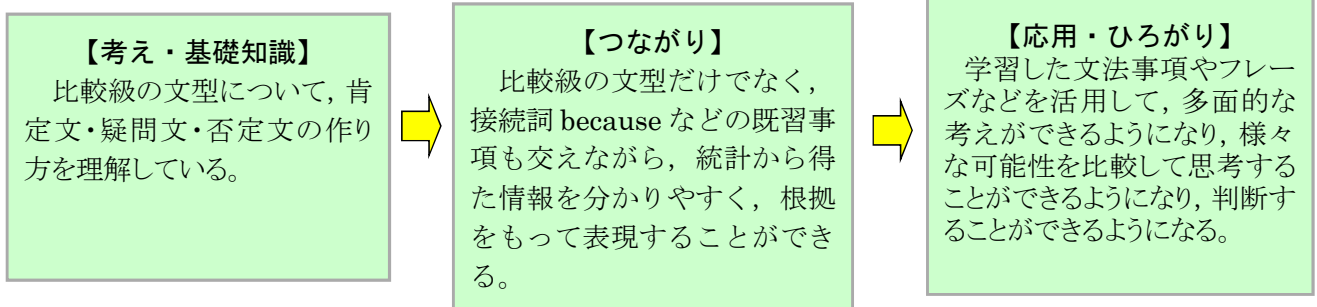
7 指導と評価の計画

○本単元で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	主体性 (自ら課題を見いだす力)	協働的協働的課題解決力 (協力しながら課題を解決する力)	振り返り力 (メタ認知力)
I (基礎的知識)	<p>【課題発見と解決方策】</p> <p>○課題解決に向けて，必要な文法事項を理解しようとしている。</p> <p>○課題解決のために比較級の文型を用いて説明しようとしている。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>○課題解決のために必要な情報を選択し，比較級の文型だけでなく学習した表現を用いて紹介しようとしている。</p>	<p>【知識・技能の理解】</p> <p>○課題解決のために必要な情報を選択し比較級の文型や既習の表現を用いた紹介だけでなく，それぞれの場所の説明や詳しい情報なども伝えようとしている。</p>

C (つながり)	【考える・議論する】 ○提示した課題について、比較級の文型を用いて解決することができる。	【多面的・多角的】 ○読み手が理解しやすいように接続詞 because や so などの文で具体的な説明を加えて、説明することができる	【他とのつながりを理解】 ○・ただ単に数字の羅列になることなく、相手が分かりやすいように具体例なども含めるなどして英作文することができる。
E (応用)	【学びに向かう力】 ○比較級の文型について、肯定文・疑問文・否定文の基本的な作り方を理解し、それらを用いてレポートを作成しようとしている。	【未知の状況への対応】 ○相手が正しく理解できるように、比較級の文型だけでなく既習の学習事項も用いてそれらを組み合わせ、具体的な説明をすることができる。	【学びを生かそうとする力】 ○新出・既習の文法事項を交えてまとまりのある英文で説明をすることを活用して、相手意識を持ち、場所の説明や詳しい情報などについて伝えることができる実感している。

【ICEモデル】



(全 13 時間)

次	学習活動	生徒の思考の流れ	観点		評価	
			関	表	理	知
1	課題の設定 本時の目標：パフォーマンス課題を知り、統計を取って結果を英文で表現する。					
	○パフォーマンス課題の確認をする。 ・パフォーマンス課題(模擬)をやってみる。 ・どんな英文が使えるか話し合ってみる。	・統計を取って、結果を英文にするにはどのような構成にすると良いかな。 ・数の大小を表現するにはどのようにすればいいかな。	○			◇分からない単語や表現は辞書を用いるなどして、自分の力で文章を書こうとしている。 (行動観察)
2	情報の収集① 本時の目標：比較級の文構造を理解することができる。					
	○必要な文法事項(比較級)をみんな考えてみる。 ・形容詞の形の変化の仕方について学ぶ。 ・比較級を使ってパフォーマンス課題(模擬)の英文を書き換えてみる。	・比較級を用いることで、物事の優劣を表現することができるんだな。 ・形容詞にerを付けることで比較級にすることができるんだな。 ・比較級を使うと、ただ数を羅列するだけでなく、簡潔にまとめることができるんだな。	○			◇比較級、最上級に関する知識を身に付けている。 ★パフォーマンス課題をどのように書き換えれば、より分かりやすくなるか意欲的に考えようとしている。(行動観察) 【主体性】

3	情報の収集②	本時の目標：最上級の文構造を理解することができる。 ○必要な文法事項（最上級をみんな考えてみる。 ・コンビニの中でどこが一番好きか英作文する。 ・2つの物を比べるときは比較級で表現できることが分かったけど、3つ以上だとどうなるんだろう？ ・最上級はthe est で表現することができるんだな。 ○◇比較級，最上級に関する知識を身に付けている。 ★提示した課題について，比較級の文型を用いて解決することができる。（行動観察）【協働的課題解決力】
4	情報の収集③	本時の目標：長い形容詞を用いて，物事を比較して表現することができる。 ○教科書本文の要点を押さえる。 ・神石高原の良さについて英作文をする。 ・長い形容詞にもerを付ければ比較級に書き換えられるな。 ・教科書本文中のmoreやmostってなんだろう？usefulって形容詞だったよな，erが付いてないな。 ○◇比較級を用いて文を正しく書くことができる。（ワークシート） ★課題解決に向けて，必要な文法事項を理解しようとしている。（行動観察）【主体性】
5	情報の収集④	本時の目標：more, mostを使って統計結果を英作文にまとめる。 ○統計結果を，more, mostを使って表現する。 ・ただの数の羅列にならないように指導する。 ・各項目を比べて表現すればいいな。 ・一番の項目には比較級よりも最上級を使った方がいいな。 ○◇比較級を用いて文を正しく書くことができる。（ワークシート） ★提示した課題について，比較級の文型を用いて解決することができる。（ワークシート）【協働的課題解決力】
6	情報の収集⑤	本時の目標：「～と同じ」という表現が入った英文を読み，内容を正しく理解することができる。 ○教科書本文の要点を押さえる。 ・内容に関する質問に答えると共に，本文を要約する。 ・比較級は分かるけど，as ○形 as はどのような表現方法なんだろう？ ・fastは副詞だけど，副詞にもerやestが付くことはあるのかな？ ○◇比較級を含む英文を読んで内容を理解することができる。（ワークシート） ★課題解決に向けて，必要な文法事項を理解しようとしている。（行動観察）【主体性】
7	情報の収集⑥	本時の目標：「～と同じくらい」という表現方法を理解し，正しく運用することができる。 ○統計を取ったデータを基に，ペアで紹介しあう。 ・「同じくらい」という表現を用いるよう指導する。 ・数が同じ場合はas@asで表現すればいいんだな。 ・副詞にもer, estが付くんだな。 ・比較級，最上級，as - asを用いればかなり簡潔に統計を説明することができるぞ。 ○◇間違いを恐れず積極的にコミュニケーションをとろうとしている。（行動観察） ○◇比較級を用いて文を正しく書くことができる。 ★提示した課題について，比較級の文型を用いて解決することができる。（行動観察・ワークシート）【協働的課題解決力】

8	まとめ・創造・表現① ○教科書本文を読み、内容理解をする。 ・各段落にどのような情報が書かれているか理解する。 ○価値観の違う友達と筆談により意見を述べ合う。	本時の目標：モデル文を読み、文章構成等を理解する。 ・レポートを作成する際には、色々な側面から書いた方が説得力が増すな。 ・自分とは違う意見でも、納得できる部分はあるな。							◇比較級を含む英文を読んで内容を理解することができる。 ★課題解決のために必要な情報を選択し、比較級の文型だけでなく学習した表現を用いて紹介しようとしている。(行動観察) 【主体性】	
	まとめ・創造・表現①	本時の目標：物事を比較し、多面的に考えて英作文をする。								
9 本時	○価値観の違う友達と筆談することにより、自分とは違う考え方を理解する。 ・意図的なペア編成を行い、意見が述べ合えるようにする。 ○意見を述べ合った後に、改めて自分の意見を書く。	・なるほど、そういう考え方もあるのか。 ・自分では気付かなかったけど、そういう可能性もあるなあ。 ・レポートを作成する際には、色々な側面から書いた方が説得力が増すな。	○	○					◇分からない単語や表現は辞書を用いるなどして、自分の力で文章を書こうとしている。(行動の観察) ◇I think等を用いて、聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや意見を書くことができる。(ワークシート) ★課題解決のために必要な情報を選択し、比較級の文型だけでなく学習した表現を用いて紹介しようとしている。 【主体性】	
10	まとめ・創造・表現2～④	本時の目標：調べ学習を通して、データ収集をする。								
11	○インターネット、アンケート等を利用して情報収集を行う。 ・下書き用紙に情報をメモしたり、必要な語句を調べて書いたりする。	・どういう統計を取ろうかな。 ・テーマや選択肢を英語にする際に、まず日本語の言い換えをした方がいいな。	○						◇分からない単語や表現は辞書を用いるなどして、自分の力で文章を書こうとしている。(行動観察) ★課題解決のために必要な情報を選択し比較級の文型や既習の表現を用いた紹介だけでなく、それぞれの場所の説明や詳しい情報なども伝えようとしている。(行動の観察) 【主体性】	
12	まとめ・創造・表現⑤	本時の目標：取った統計を基に、レポートを作成する。								
	○レポートを作成する。 ・文字の羅列に留まることなく、結果を簡潔にまとめるよう指導する。 ・最後に、統計を取ったことから分かったことや自分の意見などを書くように促す。	・比較級を使えば、簡潔にまとめることができるな。 ・自分の考えや意見などを言うにはI thinkなども使えるな。 ・文を繋ぐための接続詞も習ったから使ってみよう。	○	○	○				◇比較級を用いて文を正しく書くことができる。 ◇I think等を用いて、聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや意見を書くことができる。 ◇接続詞を用いるなどして、自分の考えや根拠などの関係を明らかにして書くことができる。(ワークシート) ★ただ単に数字の羅列になることなく、相手が分かりやすいように具体例なども含めるなどして英作文することができる。(行動の観察) 【振り返り力】	
13	まとめ・振り返り	本時の目標：単元の学習のまとめをする。								
	○完成したレポートの読み合いをする。 ・比較級に着目して友達のレポ	・比較級を使っているから、数の大小の関係が分かりやすいな。	○				○		◇分からない単語や表現は辞書を用いるなどして、自分の力で文章を書こうとしている。 ◇比較級を含む英文を読んで内容を理解する	

<p>ートを読むように指導する。</p> <p>○この単元を通して思ったことや感じたことなどを振り返る。</p> <p>・自分の取組の良かったところや今後につなげる課題点などを書く。</p>	<p>・比較級を使って他にも色々な物に関して表現できるかな。</p>		<p>ことができる。 (行動の観察)</p> <p>・相手が正しく理解できるように、比較級の文型だけでなく既習の学習事項も用いた具体的な説明が必要ということをどこまで理解しているかが分かっている。</p> <p>(ワークシート) 【振り返り力】</p>
---	------------------------------------	--	--

パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性, 協働的課題解決力 (探究力), ふりかえり力 (メタ認知力)
教科の評価規準	社会的な事柄について統計を取り, 読み手に分かりやすいようにまとめるとともに, 比較級を用いて, 自分なりの分析をレポートにまとめる。

予備的ルーブリック

尺度 (評点, レベル)	記述語 (パフォーマンスの特徴)
<p>3 理想的</p>	<p>比較級を用いて統計結果を分かりやすくまとめ, さらに既習のI thinkなどの自分の意見を伝えるのに必要な文型, またbecauseやsoなど, つながりのある英文を書くために必要な接続詞を用いて自分なりの分析結果を書いている。</p> <p>(例)</p> <p>I investigated about the season my friends like the best. Summer gets the most points of all, and winter gets the worst. Autumn is more popular than spring. I think this result is interesting. The reason is because this town is very cold in winter. So everyone likes hot better than cold.</p>
<p>2 合格</p>	<p>比較級を用いて統計結果を簡潔にまとめ, 自分の意見を書くことができている。</p> <p>(例)</p> <p>I investigated about the season my friends like the best. Summer gets the most points of all. Autumn is more popular than spring and winter. It is interesting.</p>
<p>1 乗り越えさせたい実態</p>	<p>統計結果を数字の羅列のみでまとめており, 自分の意見や分析結果を単文で書いている。</p> <p>(例)</p> <p>I investigated about the season my friends like the best. Summer gets 3 people. Autumn gets 2 people. Spring gets a person. Winter gets 0 points.</p>

8 本時の学習

(1) 本時の目標

物事を比較し、多面的に考えて英作文をすることができる。

(2) 本時の評価規準

分からない単語や表現は辞書を用いるなどして、自分の力で文章を書こうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

I think 等を用いて、聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや意見を書くことができる。

【外国語表現の能力】

(3) 準備物

ワークシート, 辞書など

(4) 本時の展開

学習活動 ・生徒の思考の流れ	◇指導上の留意事項 ◆配慮の必要な生徒への支援	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)
1 ウォーミングアップをして、本時の目標を確認する。 [10分]			
○あいさつ ①単語ペアワーク ②1 minutes chat ・比較級を上手く会話の中に取り入れることができたな。 ・relax は形容詞ではないから、more relax とは言えないな。	◇スピーキング活動などを行い、英語学習のウォーミングアップを行う。 ◆使う会話文の指定をする。		
○使った表現、言いたかったけど言えなかった表現を確認する。 【本時の目標】	◇生徒の対話、疑問から本時の課題が設定されるように工夫する。		
意見の違う友達と対話をし、それを踏まえて自分の意見を書くことができる。			
・自分とは違う意見でも、納得できるところはあるな。それも踏まえて言うと、説得力が増すな。			
2 意見が違うペア同士で対話をする。 [15分]			
○好きな季節について、理由を基に紙に意見を書く。 ①ペアで話し合いながら書いてみる。 ②書けたら紙を相手のペアに渡す。 ①と②を時間いっぱい繰り返す。(5分) ・なるほど、そういう考え方もあるのか。 ・自分では気付かなかったけど、そういう可能性もあるなあ。 ○ペアを変えて再度、①と②を繰り返す。	◇比較級を積極的に使うよう指導する。 ◆単語レベルでも、相手に伝わるように書いてみるように伝える。 ◇ペアを変える前に、机間指導中に気付いたことなどについて指導する。	分からない単語や表現は辞書を用いるなどして、自分の力で文章を書こうとしている。 (行動の観察)	

3 意見の述べ合いを終えて、それを踏まえた自分の意見を書く。〔20分〕			
<p>○自分の意見，考えをまとめる。</p> <p>○ワークシートに，自分が元から考えていた視点だけでなく，違う視点にも触れながら英作文をする。</p> <p>・レポートを作成する際には，色々な側面から書いた方が説得力が増すな。</p>	<p>◇色々な価値観について言及するように条件付けを行う。</p> <p>◆辞書や教科書等を参考にするように促す。</p>	<p>I think等を用いて，聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや意見を書くことができる。 (ワークシート)</p>	<p>課題解決のために必要な情報を選択し，比較級の文型だけでなく学習した表現を用いて紹介しようとしている。 (ワークシート) 【主体性】</p>
4 本時を振り返り，次時につなげる。〔5分〕			
<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>・レポートを書く際には色々な視点から考えて，分析してみよう。</p> <p>・色々な視点から考えることはできたけど，英文にするのは難しいな。</p> <p>○次時からは調べ学習をして統計を取ることを伝える。</p>	<p>◇言語的，非言語的な要素を含めて作文するよう促す。</p> <p>◆ヒントプリントを活用して書くように促す。</p>		

板書計画

本時の目標

意見の違う友達と対話をし，それを踏まえて自分の意見を書くことができる。

1 min chat

Which do you relax better, going outside or staying at home?

I have (a/some) reason(s).

Monday

February first

Sunny

2:02 pm

ペアワークの
図

Let's try

Write your opinion